

——魅力的な会社づくりのために、どのような取り組みをされているのですか？

社員一人ひとりが自分の“得意”を発揮できる場を提供したいと考えています。

人は誰でも「褒められたい、認められたい」という欲求を持っているものです。そうした欲求を満たせる場面を、少しでも多く用意したいのです。

たとえば、当社では毎年、中央職業能力開発協会と社団法人全国技能士会連合会が共催する「技能グランプリ」に社員を出場させています。これは熟練技能士が技術力日本一の座をかけて競い合う大会です。こうした場で技術を認められることは、当社の技術力のアピールになると同時に、社員にとっても励みになるものです。

さらに、技術や業務以外の面で社員が輝ける場があってもいいのではないかという思いもあり、ソフトボール部をはじめとする社内部活動もバックアップしています。

働いていれば、ときには辛い思いをすることもあるでしょう。そんなときでも何か楽しめるものがあれば、仕事にも前向きに取り組めます。

多くのビジネスパーソンは、1日8時間以上の労働に従事していますが、いやいや働いても、楽しく働いても、過ごす時間に変わりはありません。それなら、前向きな気持ちで時間を過ごす方がいいに決まっています。

前向きに働ける職場イコール社

員が長く勤めたくなる魅力的な職場なのではないでしょうか。

——岩野社長は、技術者を育成し、業界の発展に貢献したことが評価され、2013年4月に黄綬褒章^(※)を受章されました。また同年11月からは、長野商工会議所副会頭に就任され、地域の発展にも尽力されています。

会社を守り育てることは経営者の職務です。しかし、自分たちの組織さえよければそれでいい、という姿勢では会社が成長できるはずありません。

当社は内装やインテリアを手がけていますが、それだけで建物は完成しません。多くの企業と協力して、一つの建物をつくりあげるわけです。

ですから建築業界そのものが活性化し、いい人材が数多く育てば、それだけお客さまに高品質の製品を提供できるようになります。建物そのものに対する満足度が高まれば、当社に対する顧客満足度も向上していくでしょう。

地域の発展も同様です。今、長野



の注目度は高まりつつあります。2015年には北陸新幹線の長野ー金沢間が開通しますし、その翌年には地元の名所・善光寺で7年に1度の御開帳が行われます。

この好機をうまく生かして地域を活性化できれば、市内の企業も活性化し、お客さまに充実したサービスを提供できるといういい循環が生まれます。

地域や業界の発展とともにわが社も成長できる。そうした環境を実現するために、尽力したいと考えています。^②

※社会や公共の福祉、文化などに貢献した者に授与される褒章の一つ。
黄綬褒章は「業務に精励し衆民の模範たるべき者」に贈られる。

企業DATA

社名	株式会社岩野商会
創業	1951(昭和26)年5月
設立	1955(昭和30)年2月
代表者	代表取締役社長 岩野 彰
従業員	380名
事業内容	建物のインテリア・内装工事、防水工事、 竣工後の建物清掃管理、イベント運営や各種テントシートの設計施工など
本社	長野県長野市
資本金	9600万円
URL	http://www.iwano.co.jp/

